



2016～2017年度国際ロータリー会長ジョン・ジャーム

**会報**  
Weekly Report  
AKISHIMA TOKYO

【例会場】 フォレスト・イン昭和館 TEL:042-542-5555  
例会日 毎週木曜日 開会点鐘 12時30分～  
【事務局】 〒196-0014 東京都昭島市田中町562-8 昭和第1ビル202-B  
TEL 042-543-8975 FAX 042-541-1117  
ホームページ http://www.akishima-rc.org  
E-mail akishima-rc@hkg.odn.ne.jp

会長方針 「信頼」と「誇り」と「連帯感」

第2393回 例会報告 2017年2月16日発行 VOL.49-27  
2017年2月9日(木)例会

○司会 ロータリー財団・米山チーム  
向山 英雄 委員長

【開会点鐘】12時30分 安保 満 会長



【斉唱】  
ロータリーソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 西川 哲造 会員

来訪者紹介

卓話講師 あきしまこどもクッキング 小川 真一 様  
東京立川RC 浅見 英明 様  
同上 馬場 欽次 様

会務報告 安保 満 会長

- 2月6日(月)昭島市役所1階ロビーで昭和の森芸術文化振興会主催“第9回昭島市内芸術家3人展”の開会式が行われました。2月11日よりモリタウン1階広場で開催されます。
- 2月8日(水)ハイアットリージェンシー東京で午前中に2017-18年度補助金管理セミナーが開催され、相田幹事、鈴木会長エレクトと参加して参りました。午後より2016-17年度第2回ロータリー財団セミナーが開催され、相田幹事、向山委員長と出席しました。
- 次週2月16日(木)例会に須田恵寿平和フェロー委員長にお越し頂き「平和フェロープログラム」について卓話を頂きます。

幹事報告 相田 禎延 幹事



- 3650地区(韓国・ソウル)より地区大会の案内が届いています。  
日時 3月17日(金)・18日(土)  
会場 クラウドハイアットソウルホテル
- 2月7日(火)RLI・PartⅢに参加して参りました。当クラブよりディスカッションリーダー 坡山会員と受講生として私(相田幹事)です。あと1回の参加で卒業できます。皆様もぜひ参加して下さい。

チーム報告

○親睦活動出席チーム

※出席報告 森島 徳幸 委員



会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席/内免除会員
46名	6名	40名	34名/3名
事前メイクアップ		本日の出席率	
4名		88.37%	
※事前メイク 井上会員、鈴木(-)会員、坡山会員 菊池会員			
※メイクアップ 2月2日 向山会員 訂正出席率 90.91%			

○ロータリー情報・雑誌チーム

※「ロータリーの友」2月号紹介 篠 易男 委員

2月号の表紙は大変意義ある表紙で、「ロータリーの友」が発行されてから、こういう形の中の表紙は初めてだと思います。

この写真は申す迄もなく1905年の創立した時のメンバーが載っているわけです。この4人の方があって今日があるわけで、シルバスター・シール、ポール・ハリス、ハイラム・ショーレ、ガスターバス・ローアの4人です。裏表紙は2018-19年度2750地区服部陽子ガバナーノミニエです。この年度は安保会長がガバナー補佐の職務が決定しております。また、地区大会がグアム大会になります。

【横組み】7頁～「合併・・・その後」のテーマで3地区のクラブが合併した様子、その後などが載っております。

22頁～「日本のロータリーが100年を迎えるに当たって」は、RI理事、日本のロータリー10土編纂委員会委員長、副委員長、ロータリーの友委員会委員長による座談会です。中で「ロータリーの方向付け」がかなり変わってきているのに、どのように対応して100年を迎えるかを踏まえ、未来に向かっての事が記載されています。32頁～35頁「ガバナーのページ」

【縦組み】4頁～8頁～金子みすゞの詩より～「与えて生きる喜び」は、曹洞宗長徳寺住職酒井大岳氏が2570地区地区大会講演なので要旨です。金子みすゞの童謡詩集が日本の西条八十にも目にとまる若い詩人でした。ぜひお目通し下さい。

○50周年実行委員会

※報告 三田 忠 実行委員長



2月2日(木)第4回創立50周年実行委員会を開催しました。

各委員会より現在までの進捗状況報告。起案として、総務委員会より横断幕、名刺、のぼり制作を承認横断幕は50周年専用デザインとし、長さ2m50、縦60cm。

のぼり旗は50周年専用ではなく、「東京昭島ロータリークラブ」でいつでも、何処でも使える様にしました。

事業委員会よりカウントダウンクロックと東京オリンピック・パラリンピックのカウントダウンクロック、東中神駅竣工工事に伴う寄贈について協議。

カウントダウンクロックはテレビモニター使用による表示、設置場所は昭島市役所内。

贈呈式並びに点灯式は6月30日16時よりを予定しています。東中神駅竣工工事に伴う寄贈については、市役所との打合せで南口駅前植栽に「温度計」で協議を進めています。

来年2019年3月を予定しています。

## ○2017-18年度ロータリー手帳・地区大会引率

※案内 森島 徳幸 副幹事

2017-18年度「ロータリー手帳」の申込書が届いておりますので希望者は2月末日迄お申し出下さい。

来週2月16日例会は、100%に近い出席率を予定しています。よろしくお祈りします。

地区大会引率は、2月22日本会議は9時登録開始、10時点鐘開会になります。皆様に各駅出発時刻をお知らせ致しましたので、最後部にご乗車下さい。

## ○親睦活動出席チーム

※ニコニコボックス発表 寺嶋 功 委員  
安保会長 あきしまこどもクッキング小川真一様

のご来訪を歓迎致します。  
卓話よろしくお祈りします。  
東京立川RC浅見英明様、馬場欽次様、ご来訪を歓迎致します。

相田幹事 あきしまこどもクッキング小川様、  
本日の卓話よろしくお祈り致します。  
立川ロータリークラブ浅見様、馬場様、ご来訪ありがとうございます。



本日の合計 18,000円  
累計 1,471,000円  
予算達成まで 1,029,000円

## 卓 話

### ※卓話講師紹介

社会奉仕・職業奉仕チーム  
木野 常男 チームリーダー

1975年東京都練馬区で誕生、現在41才  
明治大学大学院を卒業後、明治大学情報科学センターに勤務

2006年結婚を機に、専業主夫となり、子育てをされています。

以後、横浜・東京・名古屋・埼玉・愛媛など転勤生活をされています。2017年4月より北海道に転勤予定です。

転勤生活を機に社会活動を開始、各地で団体の設立や支援活動を行っております。

2016年4月に「あきしまこどもクッキング」を設立、経済的な理由で満足な食事が取れなかったり、親が忙しく一人で食事をしている子供達に食事の支援や、学習の支援を行う「こども食堂」を運営しています。

### ※テーマ「昭島での“こども食堂”の取り組み」

あきしまこどもクッキング 小川 真一 様

私が昭島に住む様になったのは2015年4月からです。今日は私と昭島生まれの1才10ヶ月のこどもとお邪魔しています。妻は現在立川で働いております。

「あきしまこどもクッキング」は、“単純に言うところこどもに対する食事の支援を通じて居場所づくりをする”活動です。対象は困難を抱えるこども

や家庭で「困難」とは、経済的困難以外にも、社会的に孤立している、一人で食事をしている子供達。ご主人は単身赴任で地方に行っていて、母親とこどもだけで食事をしている。そもそも共働きで、満足な食事が出来ていない。家庭は裕福でも両親と食事をした事がないなど、いろいろな社会的困難を抱えるお子さんや、その家庭を対象に活動しています。

支援の方法は「こども食堂」で食事の支援、「学習支援」、「居場所づくり」は困難の内容に応じて関係する機関との連携をします。あとは地域との繋がりを作っています。現在スタッフは20名います。

設立趣旨は、私たちは子供達を地域で見まもり育てるための団体です。地域には不登校、虐待など様々な困難を抱えているたくさんのお子さんが居ます。昭島市の場合、6人に一人が貧困状態と言われています。昭島の人口11万人のなかで一人



親の家庭で税制上の控除を受けている方が1400家庭あります。その内の700家庭位の平均年収は56万円です。昭島市中学校では4人に一人が就学援助と言われている、教科書、体育着などを購入するための支援を受けています。

その様なお子さん達を何とか地域で支えられないかという思いがあって、2015年12月より準備会を行い、2016年2月に「こども食堂」を朝日町でプレオープンしました。

2016年4月から公民館で「あきしまこどもクッキング」を料理教室形式で「こども食堂」でお子さんと一緒に料理を作って、一緒に食べると言う活動を実施しています。

2016年10月から「こども食堂」に併設して、「学習支援」を行っています。宿題や勉強の習慣を付けて、貧困の連鎖から抜け出して頂けたらと思っています。

昨日「こども食堂」の実施日で、カレーがメニューで「ポークカレー」と「チキンカレー」の二種類を作りました。昨日は40数名に参加頂き、その合間に大学生のボランティアが「学習支援」を行いました。

団体の特徴として、低年齢層のお子さんの参加が多く、学習に至らないお子さんも多いです。その様なお子さんにはスタッフが遊びなどで関係づくりをしています。

食材及び費用などは、1回の実施コストは食材費のみで、会場費は公民館利用でほぼ掛かりません。1回のコストは2000円～5000円で40食位です。お米は寄付で賄い、お米だけは100kg位の備蓄がありますが、使い切れないので他のこども食堂さんに提供しています。野菜は昭島市や八王子、日野など市民農園をされている方から寄付で頂いています。肉は精肉店から賞味期限に近いものを分けて頂いたり、全国から肉の加工業者さん、食品業者さんから頂いています。それ以外の食材は購入しています。それが2000円～5000円となります。

食堂に来られた方の費用は、お子さんは全員無料で親御さんから300円を頂いています。300円についてもそれぞれの家庭の状況に応じて免除になったり、減額があります。その他の収益はフリーマーケットの収益と寄付金です。

現在「こども食堂」は盛んに行われて、昭島や他地区の企業さんからいろいろな食材の寄付を頂いています。毎月いろんなものが届いていて、食材については充実した状況にあります。

1年間活動して、400人位の参加を頂きました。公民館利用のため消防法の規定があって、1回35名程度納めています。父親との参加が1/4、母親との参加が1/2、と一人参加などです。参加者の属性として貧困の要件は特に設けていません。「こども食堂」というと貧困家庭限定の所もありますが、要件は設けていません。私が専業主夫のため昭島市内で父親向けのこども子育て広場を運営していますので、父親の利用が多くなっています。

18年度中に昭島市の全ての小学校区に「こども食堂」を13ヶ所開設、2020年までに300ヶ所を目標にしています。現在運営してネックになっているのが場所です。場所をお借りする事は大変に難しいです。

我々のモットーは「こどもの貧困を1mmでも前に進める」です。こどもの貧困は複雑で根が深く、こどもの貧困は親の貧困だったり、社会の貧困だったりです。皆様のご協力をお願い致します。



※謝辞・記念品贈呈  
安保 満 会長

左より 安保会長、小川真一様  
相田幹事

閉会点鐘

安保 満 会長

第2395回 2月22日(木)

移動例会 地区大会・本会議・懇親会  
グランドプリンスホテル新高輪